別紙2

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年7月8日

施設名	高知県立森林研修センター情報交流館	所管課	林業環境政策課

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	(1) 森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに学習機会の提供 (2) 森林に関するボランティア活動等の支援 (3) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (4) 利用料金の徴収に関する業務 (5) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (6) 情報交流館の利用促進に関する業務 (7) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 木造平屋建609.35㎡（木工室(54㎡)、研修室(54㎡)、シアター室(54㎡)、企画展示室(49.5㎡)、事務室(49.91㎡)、便所など） 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：①月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、②休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（（　）は休館日）		
職員体制	常勤職員：３人　　合計：３人　（令和６年４月１日時点）		

2 収支の状況

単位：千円

		令和５年度（決算）	令和６年度（決算）	令和７年度（予算）
収入	県支出金	16,022	16,022	19,107
	利用料	117	160	150
	参加料	2,193	2,912	2,020
	交付金・助成金等	1,523	1,476	0
	その他	0	1	0
	収入計　（a）	19,855	20,571	21,277
支出	事業費	3,471	3,790	2,570
	管理運営費	4,564	4,642	5,887
	人件費	11,190	11,434	12,820
	その他	0	0	0
	支出計　（b）	19,225	19,866	21,277
収支差額 （a）－（b）		630	705	0

3 利用状況

	令和5年度（実績）	令和6年度（実績）	令和7年度（目標）
①年間利用者数（単位：人）	17,484	21,310	22,000

②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況（①時期・②方法・③回答数・④調査結果等） ●森林学習アンケート ①通年　②各学習終了後に配布　③53件 ④概ね「大変満足」または「満足」と回答 ●イベントアンケート ①イベント毎　②イベント毎に配布　③549件 ④概ね「大変楽しかった」または「楽しかった」と回答 ●森林ボランティアリーダー養成講座アンケート ①講座毎　②講座毎に配布　③74件　④概ね「大変良い」または「良い」と回答
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・要望等には随時対応できており、参加者の年代に合わせた学習プログラムを丁寧に組み立てるなど森林学習やイベント等全般的に好評を得ている。
	○ その他
③その他特記事項	・HPやInstagram、テレビ等を活用した情報発信や広報誌等で活動内容を紹介。 ・「夏休みイベント」「こうち山の日情報交流館祭り」の年2回イベントチラシを小学校に配布。配布エリアは費用対効果を考慮して香美市、香南市、南国市全域、高知市の東及び中央エリア。

4　令和7年度業務評価

項　　　目		状　況　説　明
①適正な管理運営の確保		・情報交流館の施設や自然体験ゾーンなど広大なフィールドの清掃や草刈りのほか、利用者が安全に遊具等を使えるように点検や修繕を行っている。 ・職員研修では、森林環境学習への反映を目的に生物多様性こうち戦略研修や施設作業で使用する電動機の安全衛生に係る研修を受講しており、施設の管理運営のための自己研鑽ができている。 ・前回の評価意見の反映が認められる（防災訓練年2回、学校等の来館が増える時期には熱中症対策を再度徹底）。
②利用者サービスの維持向上		・間伐体験、木工（小箱、ストラップ、鉛筆立てなど）、森林学習講話（森のはたらき、森の生きもの、針葉樹と広葉樹などを映像やパネル、実物を使い講話）など五感で体験できる森林学習プログラムが充実しているほか、学校からのニーズに応えたオーダーメイド型のプログラムを丁寧に提案できている点は高く評価できる。
③利用実績		・来館者数は前年度比約3,800人増加。イベント毎に広報チラシを制作しているほか、InstagramやHPでも積極的に情報発信している。
④収支の状況		参加料等の収入が前年度比で増加しており、黒字幅が拡大。
総合評価	A	・多種多様な体験型のイベントの開催や、教育機関と連携し、各年代の発達に応じた学習プログラムを組み立てるなどの企画・提案力は高く評価できる。 ・森林ボランティアの養成も行っており、子どもたちに森林の大切さを知ってもらうための担い手づくりにも貢献している。 ・親子で利用しているケースも多く、地域の身近な居場所として活用されている。 ・年間利用者が目標値を上回っている点も評価できる。

【評価の目安】
A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D：管理運営が適切に行われたと認められず、大いに改善を要するもの